



和太鼓グループ「八鼓会」の笛や太鼓演奏で「健康まつり」スタート



楽しく笑顔があふれた子ども向けコーナー

白衣を身に着け変身 新企画「こども白衣体験」 オープニングは和太鼓で華やかに



将来は看護師さん!

は代々木健康友の会の布 施仁会長が務めました。 河邊院長は、友の会と ともに取り組み、健康づ くりや助け合い活動、在 宅や健診で地域の健康と 暮らしを支えたいと語り ました。柳田さんからは、相談事例をから身寄 りのない高齢者が地域で 孤立している実態を報告 し、地域の中で「関わり」 を強める必要性、孤立す る前にできることついて 問題意識を提示しまし た。

商店街理事の岡崎さん は母親の転倒事故から体 験したこと、地域での進 行している高齢化問題、 自らの地域での活動の経 験などに触れられ、地域 の中で「交わり」を持つ ことが「支えをつくるの では」と提起し、あわせ て代々木病院に対する期 待について語りました。

フロア発言では、地域 包括支援センターの職員 から、地域の中の取り組 みとしてフレイル予防に 力を入れていることや、 訪問リハビリな どからも協力を してもらって いること、今後も 様々な協力をお 願いしたい、と いう話が出さ れました。

司会の布施さ んから「病院が 健康増進に役立 つために地域の 方と一緒に考え る良い機会とな

りました」と公開討論の まとめをしました。 ご来場された地域の皆 様、友の会の皆様、関係 者の皆様、ありがとうございました。

①入れ歯とは...? 歯を失った部分を補う 取り外し式の装置を俗に そう呼んでいます。基 本、ピンクの顎に乗せる 床という部分と人工の歯 はレジンという合成樹脂 で出来ていて、部分入れ 歯の場合はそれを金属の 鉤で留めています。(自

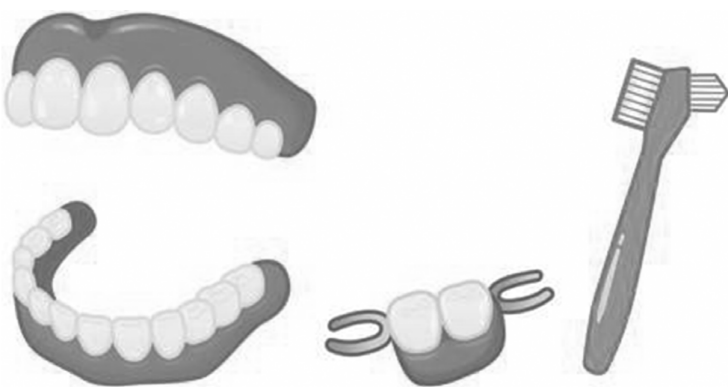
②入れ歯安定剤 は本来不要なも のです 入れ歯安定剤 は入れ歯の痛み をなくしたり外 れにくくしたり 食べかすが入る のを防ぐための ものですね、そ の大半は調整や 修理、新製で解 決します。不潔 になりやすいの でお勧めしませ ん。

③入れ歯はブラシでよく 洗う必要があります 洗浄剤に漬けただけ や、ささっと洗っただけ では、ばい菌が取れてい ないことが多いです。多 数歯の入れ歯の場合は入 れ歯用ブラシの使用をお 勧めします。

④入れ歯は食べる時だけ 入れるものではありません 人は1日に約600回 嚥下をします。平常時睡 液は2〜3分に1回飲み 込んでいます。大きな入

⑤新製してからも調整が 必要です 義足をつけてすぐ走れ ないのと一緒で使用者に なじむよう調整します。

⑥入れ歯は一生モノでは ありません 人工歯はレジンなので すり減ります。数年で作 り替えるのを勧めしま す。永く使うには修理が 必要です。(番号後に続 く)



民医連

代々木歯科コーナー

連載

あなたの入れ歯の常識は非常識? その1

— その120 — 歯科医師 妹尾ゆかり



(108) 機能性表示食品の安全対策

ことが必要です。 製造過程で混入した青 カビが注目されています が、カビ対策には多大な コストがかかります。ま た、GMPに基づく製造 管理では、管理対象物質 と許容限度を明確にしな ければならず企業の負担 は多大です。

昨年12月には、けん怠 感や尿の異常で受診する 人が増え、1月に専門医 が企業へ情報提供をした のに、3月22日まで公表 しなかった遅れが被害を 拡大しました。製品には 「肝機能検査で異常のあ る方は医師にご相談くだ さい」という注意が書か れていましたが、高齢者 や病気を抱えているなど のリスクが高い人の利用 を避けることができませ んでした。

予防のために、どのよ うな人で健康障害が起き るのか分析し、周知する ことが必要です。

薬剤師 藤竿伊知郎 (元外苑企画商事)

サプリメントに 頼らない生活



紅麴サプリメントの腎 障害事件で、政府は5月 31日、健康被害報告と適 正製造規範(GMP)を 義務づける方向で対応策 をまとめました。この対 策が、実現するには年単 位の時間がかかる内容で す。

昨年12月には、けん怠 感や尿の異常で受診する 人が増え、1月に専門医 が企業へ情報提供をした のに、3月22日まで公表 しなかった遅れが被害を 拡大しました。製品には 「肝機能検査で異常のあ る方は医師にご相談くだ さい」という注意が書か れていましたが、高齢者 や病気を抱えているなど のリスクが高い人の利用 を避けることができませ んでした。

予防のために、どのよ うな人で健康障害が起き るのか分析し、周知する ことが必要です。

良い医療を提供するために大幅増員を 「看護の日行動」へ参加



厚生労働省前で看護師の「大 幅増員」一歩改善を訴え

5月16日、東京医療関連協主催「看護の日 行動」(新橋)に代々木病院の新人看護師9 人が参加しました。集会では、看護師の慢性 的人手不足からくる過酷な労働実態に対し て、夜勤制限闘争、ストライキ、ナースウ ェーブなどの運動で制度改善をさせてきた歴史 についての話を聴き、当事者が「声を上げる」 ことの大切さを学びました。集会後、厚生労働 省前に移動し150人の参加者ととともに、医 療従事者の「大幅増員」「処遇改善」の実現 を訴え、アピール行動を行いました。参加し た看護師から「患者さんの命や安全だけでなく、自分たちのことも大切にしながら働いて いきたいと感じた」「医療従事者がもっと働 きやすい環境の中で患者さんに良い医療を提供 するためには行動し、政治を変えていくべ きだと思った」などの感想が寄せられました。